

# 分会ニュース

## 日笠助役！支社にどのように報告しているの？

## 親切・丁寧・熱心に社員指導していると支社は勘違いしているけど！

**日笠助役。いったい支社に対してどのような報告をしているの？**

11月20日、J R 東海労新幹線関西地本と J R 東海関西支社との幹事間で『「申」23号「超過勤務の取扱に対する申し入れ」』について事前審理が行われました。その報告によると、超過勤務の取扱について支社は、「超勤の指示が出来ない場合もある」と回答しています。しかし、それはかなり特殊な場合であり、大二両のように終業時間が明確に決まっていて、その終業時間までの間に呼び出し話しをしていて「超過勤務の指示ができない場合」とはなりません。さらに支社は「熱心に指導していたから（超過勤務の指示が）出来なかった」と言っています。この支社が言っていることが正しいとすれば、日笠助役は熱くなれば時間管理が出来なくなる管理者であると言っているのと同じです。

また、支社は「日笠助役は親切・丁寧・熱心に指導している」と言っています。しかし、J R 東海労大二両分会の『分会ニュース』でも明らかにしてきましたが、日笠助役は「主任レポート」を提出した組合員に対して「僕が納得しないから（書くように）」「時間を気にしても話し終わるまで残ってもらう」等、指導とはほど遠い言動を行って来ています。支社はこの対応が「親切・丁寧・熱心」な指導と言っているのです。しかし、組合員が「何回も（呼び出され）苦痛です。もう止めて下さい」「パワーハラスメントです。無理矢理拘束するのですか」「つらいです。すごくつらいです」と訴えている事について日笠助役は支社に報告していないのです。

これが日笠助役の実態です。

日笠助役！！日頃社員に対して厳しく指導しているが、

時間管理も出来ない。報告も自分の都合の良いことだけしかしない。

貴方は、管理者として失格であることをここに宣言します。